

25 ローコード・ノーコードツールを活用して内製でシステムを構築【大分県別府市】



➤ ローコード・ノーコードツールを活用し、職員の手作り（内製）でプレミアム付商品券予約販売システムや避難所運営支援システムを構築した他、RPAのシナリオも内製し6,509時間の業務負担縮減

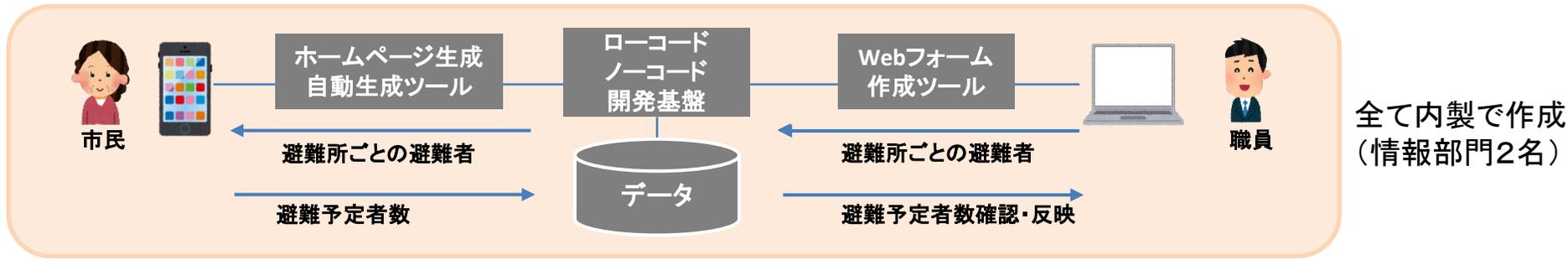
事業の概要

- **内製することで、原課の要望をよく聞きながら作成・都度修正するため良いもの**ができ、事業者に委託しないので**比較的短期間かつ安価に作成可能**。
- 自分たちの業務を自分たちで変えると実感でき、「自分たちで課題を見つけ、自分達で解決策を考え、実行に移していく」風土を醸成。
- 「**オンライン申請・情報提供**」は市役所に行かなくても**手続できる仕組み**の構築、RPAは**定例作業時間を削減し職員のみできるサービスに注力することをそれぞれ目的**としている。

■ ローコード・ノーコードツールで構築した仕組みの一例

避難所関連の情報の公開と登録業務

- ①避難所ごとの避難者数をインターネットに公開する仕組み（三密を避けるため）
- ②避難所ごとの避難者数をインターネットから登録できる仕組み
- ③避難する人の事前登録をインターネットでできる仕組み（避難する人の把握ができ事前準備ができる）



25 ローコード・ノーコードツールを活用して内製でシステムを構築【大分県別府市】

事業効果



- RPAの活用の広がりにより、業務削減効果が年々増大している。（削減時間：令和元年度 1,715時間、令和2年度 4,611時間、令和3年度 6,000時間、令和4年度 6,509時間）
- 時間外にいつでもどこからでもスマホ（PC）から予約ができ、市民サービスの向上、利便性の向上につながっている。（例：地域商品券の市役所時間外の予約件数 2,525件/日）

コスト



※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	－円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	7,527千円
(内訳)	－円	(内訳)	<ul style="list-style-type: none"> ・RPA運用支援、ライセンス 6,809千円 ・kintone（20アカウント） 208千円 ・FormBridge 160千円 ・kViewer 170千円 ・PrintCreator 180千円
(備考)		(備考)	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 —

スケジュールの内訳

- ・RPA：9か月
H30.8～ 調査・検討開始
R元.5 本格稼働
- ・kintone：1か月
R2.6 無償トライアルで実証（年度内に本稼働）



サービス提供事業者等

- サービス提供事業者** UiPath株式会社、サイボウズ株式会社、トヨクモ株式会社
- サービス名** ①UiPath、②kintone、③FormBridge・kViewer・PrintCreator
- 運用形態** ①個別開発製品をオンプレミス環境で運用
②③パッケージ製品をクラウド環境で運用
- その他参画主体** アジアクエスト株式会社



担当部署

別府市企画戦略部情報政策課デジタルファースト推進室

電話 0977-21-1124

メール beppu-df@city.beppu.lg.jp

25 ローコード・ノーコードツールを活用して内製でシステムを構築【大分県別府市】



（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和元年6月に「デジタルファースト宣言」を行い、デジタルに関する取り組みを進めています。
RPAに関しては、平成30年度に、試行的に導入しており、平成31年度から本格的に導入しています。
また、新型コロナウイルス感染症の対策の一環として、ローコード・ノーコードツールを本格的に導入しました。



（別府市）



取組においてコストはかかりましたか。

クラウドサービス使用料を毎月負担しています。RPAについては一部、作成の委託を実施しました。
主に内製で作成しているため、これまでのようなベンダーに委託するよりも低コストで済んでいます。



ローコード・ノーコードツール導入に関して他自治体からよく質問されることを教えてください。

内製で実施していますが、人材育成について質問されることが多いです。
人材育成は、ローコード・ノーコードツールの作成や修正作業を通して人材の育成を行っていますが、経験すると誰でも利用できると思います。まず、取り組んでみてはと回答しています。



取組の成果や工夫している点を教えてください。

■ 成果等

- 令和4年度末時点で、15課106業務でRPAを活用し、**6,509時間の業務負担を縮減**（縮減率78%）。
※ RPAのシナリオの内製率84%
- プレミアム付き商品券の予約販売システムを内製で作成**し、WEB予約では、24時間予約が可能となることから、WEBからの予約が電話予約よりも多くなり、**市民サービスの向上**を実感しました。
- 避難所運営支援システム**においては、これまでは各避難所の避難者数を電話で本部に連絡し、とりまとめていたがシステム導入後は、自動で集計できるようになったため**本部職員の作業時間の縮減を図ることができました**。
また、市民に情報を迅速に伝えることができ、**災害発生時の安心につながっている**と感じています。

■ 工夫している点

- 担当課より相談があった際は、なるべくすぐに解決策を提示できるようにし、**確認→修正を繰り返しながら、一緒に
なってシステムを構築していくよう心掛けています**。



☆担当：別府市 情報政策課 デジタルファースト推進室☆

【参考情報】 別府市人口：11.4万人（令和5年1月1日現在）

関連URL：BEPPU × デジタルファースト宣言 (https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/df/keikaku/digital_first.html)

25 ローコード・ノーコードツールを活用して内製でシステムを構築【大分県別府市】

参考資料

内製を支える 人材育成

- 運用を担当しながら、既存シナリオを説明や確認しながら、知識・経験を積む
 - ▶ 各課で実行する前に情報部門での事前確認、仕組みを理解
 - ▶ 修正作業などの作業を一緒に行う
- 委託企業の活用
 - ▶ 難しいシナリオは委託企業へ作成を依頼する
 - ▶ 何かトラブルがあったときに質問できる体制は必要

Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 1

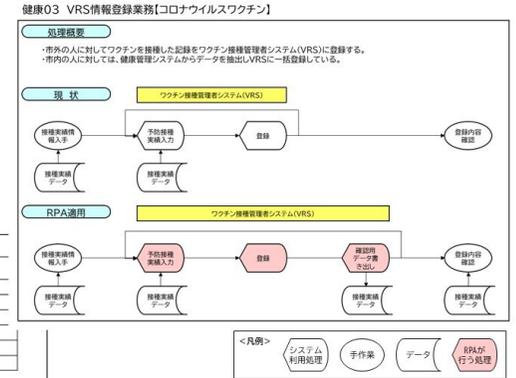
内製を支える 開発作業のルール（標準化）

① 業務フローと想定効果

- ▶ 処理概要
- ▶ 現状の処理とRPA適用後の処理
- ▶ 現状の処理時間とRPA適用後の処理時間
- ▶ 想定効果

NO	現状	作業時間 (稼働)	作業回数	RPA適用後	作業時間 (稼働)	作業回数	備考
1	接種実績情報入力	-	-	接種実績情報入力	-	-	RPAが実行
2	予約接種実績入力	30×10000	83.3	予約接種実績入力	-	-	RPAが実行
3	登録	10×10000	27.8	登録	-	-	RPAが実行
4				接種用データ裏出し	-	-	RPAが実行
5	登録内容確認	30×10000	83.3	登録内容確認	10×10000	27.8	
合計作業時間			194.4	合計作業時間		27.8	

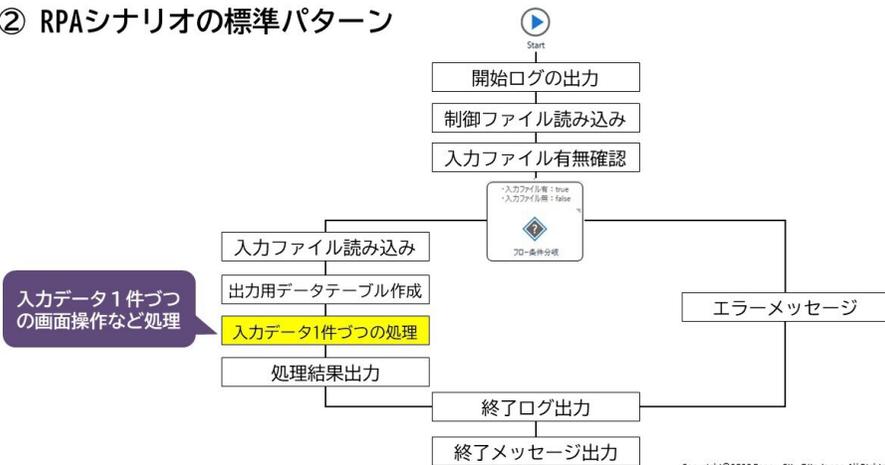
○職員の仕事時間 年間 194.4時間 → 年間 27.8時間 年間削減時間 ▲166.6時間



Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 2

内製を支える 開発作業のルール（標準化）

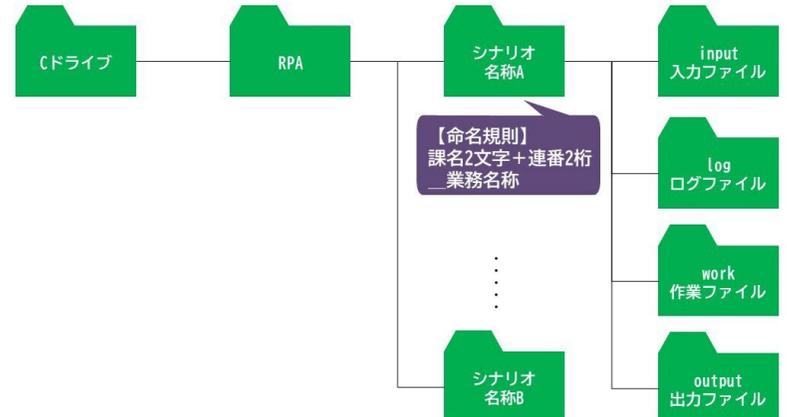
② RPAシナリオの標準パターン



Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 3

内製を支える 開発作業のルール（標準化）

③ RPAで利用するファイルの管理フォルダ構成



Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 4

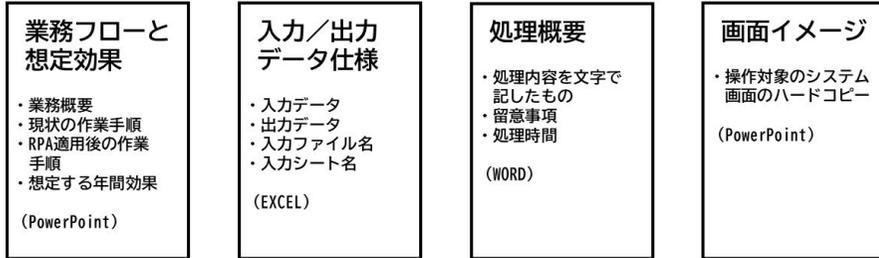
25 ローコード・ノーコードツールを活用して内製でシステムを構築【大分県別府市】

参考資料

内製を支える 開発作業のルール（標準化）



④ RPAシナリオ関連ドキュメント

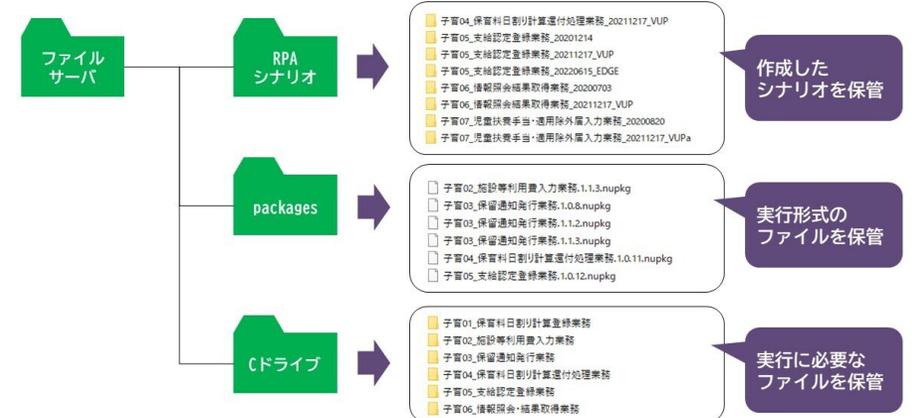


Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 5

内製を支える 開発作業のルール（標準化）

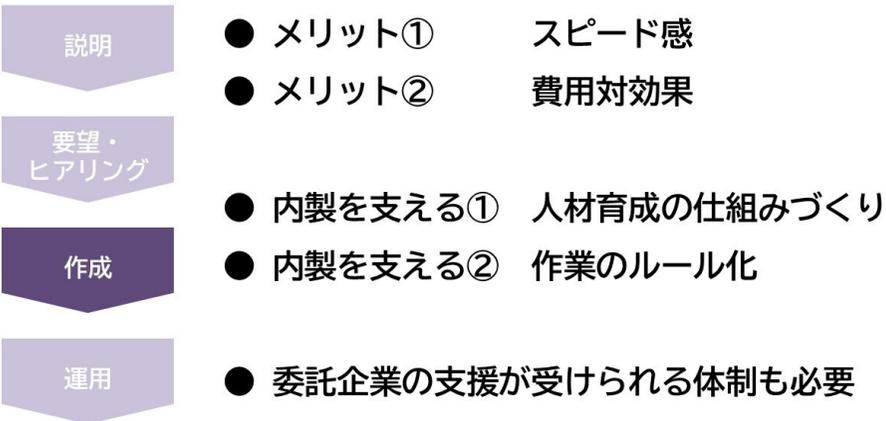


⑤ バージョン管理方法



Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 6

ポイント4 まずは、内製で



Copyright©2023 Beppu City,Oita,Japan,All Rights Reserved. 7